



長 崎 県
中小企業家同友会

DOYU

ニュース
21

E-mail jimu@nagasaki.doyu.jp
U R L http://www.nagasaki.doyu.jp

本部事務局 長崎市栄町1-20 大野ビル5F ☎(095)822-0680 FAX (095)824-4623

同友会理念を学び深め、21世紀を切り拓く企業づくりを ＝地域に根ざした人間尊重の企業づくりを＝

創立40周年記念 第19回経営フォーラム in SASEBO (2012.10.6) 速報

秋晴れで、過ごしやすい日となりました。今回の経営フォーラムには、410名の参加登録があり、他県同友会より59名の参加、オブザーバー116名の参加とこれまでの経営フォーラムとはかなり違う雰囲気でした。

「北から、そして南から…」と北海道から沖縄まで、4分科会の報告者の皆さんが集結して、熱の籠もった報告とディスカッションが展開されま

した。

記念講演では、テレビショッピングで有名な株式会社ジャパネットたかたの高田明社長にテレビで拝見するのは違った面を拝聴しながら、その成長の秘訣を垣間見たと思います。

記念式典では、歴代代表理事の功労者表彰が行われました。

詳細は次号に掲載します。



記念講演 高田明社長



記念式典 歴代代表理事 表彰



記念祝賀会での分科会報告者の皆さん

目次

経営フォーラム速報	1	新入会員・復会の皆さん	8
9月例会報告	2	11月例会案内	9
コラム	7	理事会報告	10
		会員消息	10

長崎支部 浦上地区会 例会報告

日 時	9月24日(月) 午後6時30分
会 場	ギャラリーヘキサ
テ ー マ	「40年間の戦力として」
報 告 者	(有) エス・ケイ・フーズ 取締役 中村 こずえ 会員 (長崎支部 出島地区会)



浦上地区会9月例会は、長崎市内を中心にマクドナルドのFC店舗を13店展開している(有)エス・ケイ・フーズの中村こずえさんに「40年間の戦力として」というテーマで報告をしていただきました。オブザーバー

として一般企業の他にも長崎県障害福祉課、鶴南特別支援学校、障害者職業・生活支援センター等から多数参加をしていただきました。

障がい者の方は仕事において、できる作業とすることが難しい作業があります。しかし、できる作業については教えるのに時間は少しかかりますが、習得すると真面目に正確に作業をこなしていくそうです。

中村さんのところで働いている青年の、マクドナルドのキッチン内で作業している姿をVTRで観ました。彼はキビキビと動き、正確に作業をこなしていました。周りのみんなの動きを感じて作業をし、商品の出来上がり時間を考慮してパンを焼き、手が空いたらハンバーガーを焼く鉄板を磨



いていました。キッチン内の一連の流れを見ると、彼の作業は効率的で無駄もなく、素晴らしい戦力だと感じました。

今時の若い子は、要領はいいが突然辞めたりする。しかし障がい者の方々は真面目に働くのでその先40年間の戦力を見込めると。では彼らとはどのようにコミュニケーションをとり、教育していけばいいのか。それも私達の考えすぎであり、普通に接すればいいのです。そして彼らからいろんなものを教わるそうです。

食堂での女の子とのエピソード(ここでは字数の関係で割愛しますが)、中村さんも涙を浮かべながら話されていましたが、私も聴いているうちに胸が熱くなりこみ上げてくるものがありました。人の優しさが感じられるエピソードでした。

働けるということは、全ての人にとって大切なこと。障がい者の方が働ける機会や窓口を広げていくことで、今後の人間社会がより良くなっていくのではないのでしょうか。

(文責 橋本裕次郎)

長崎支部 出島地区会 例会報告

日 時	9月26日(水) 午後6時30分
会 場	サンプリエール
テ ー マ	「弁護士大増員時代の経営戦略」 ～後継者との事務所共同経営化～
報 告 者	大同門法律事務所 弁護士 金子 寛道 会員

今回の、例会報告は、代表理事を6年務められる間、長崎同友会員250名のところを、500名まで倍増された実績を持たれる金子寛道さんに報告をして頂きました。

弁護士という職業柄なのか30年の間一度も経営体験報告をされたことがないということでしたので、大変貴重な報告を聞き逃してはいけな



たくさんの会員とオブザーバーの方が集まれ報告が始まりました。

硬い話と思いきや、漫画家志望の話からは始まり、波乱万丈な学生時代を暴露されましたが、父親への感謝の思いが今の金子会員をして弁護

士になる力を奮い立たせたということです。

代表理事就任時代「どうしたら、いい商品(同友会)をいかにたくさんの人に会員が勧めるよう

に、動いてもらえるかを、考えてきたのだ」と言われました。

報告の本題に入りますが、経営とは別物だと、思われがちな職業だが、法科大学院の発足による弁護士の増加、深刻な問題だと金子さんは受け止めて、テーマである「市場縮小・競争激化にどのような対処をしますか」で、ディスカッションが盛り上がりました。

弁護士の報告でありながら、テーマが他の会員に当てはまることでしたので、市場はどここの企業も厳しい現状ではある中、競争は逃れられないが、海外に方向を向けたり、差別化、モノ売りからサポート、経営者が体力をつけ、社員のモチベーションを上げ、そして顧客満足、「競争に勝ち残るには、価値を残す」ことが大事なことだと、思いました。

質問で集中したのは、やはり弁護士の報酬料等が気になるみたいで、いろいろなパターンで見積



もりして頂きましたが、同友会会員であれば30分間無料で相談をしていただいているという事です。大変ありがたいです、是非お願いしたいと思いました。

(文責 林 昭彦)

大村支部 例会報告

日 時	9月20日(木) 午後6時30分
会 場	長崎インターナショナルホテル
テ ー マ	九州一の豆腐企業を目指して
報 告 書	九一庵食品協業組合 代表理事理事長 徳田 信義 会員



今回の例会は大村支部会員 九一庵食品協業組合 代表理事理事長徳田信義さんに「九州一の豆腐企業を目指して」というテーマで、徳田さん自身が毎月作成している製造から販売、経営に関する

多項目にわたる資料を基に報告頂きました。

このデータ資料には皆すごいという声が上がっていました。資金繰り表は徳田さんが、毎日管理し把握をしており、経営戦略の立てているとの事。平成17年に県内の豆腐会社5社が九州一を掲げ協業組合を立ち上げ現在の生産量は1日65,000丁から80,000丁の豆腐(50~60種品目)

平成17年4月に県外にも販路を広げ九州一円のスーパー等で展開しております。

企業理念は①信用と誠実を旨とし企業発展を通



じて社会に貢献します。②人間性を尊重し、人生に意義あるものとします。③健康的な食生活の向上に寄与します、です。信用を得る為、製品の安全性は徹底。製造過程においても材料の品質、選択しているとの事。例えば豆腐を固める「にがり」は五島灘の海水より取水し化学的に作られた物は使用されません。

おいしい豆腐をつくる為、水にこだわり多良水系の水を求め社屋工場を大村市の東大村に置くなど、企業理念を実行しています。経営理念及び基本方針も公開して頂きましたが、9つの方針があり、社員一人一人が自分のいるポジションが解り、何をすればいいのか、どうすれば会社のプラスになるのかを認識しているとの事です。

質疑応答でも、「24時間操業の中で、どういう方法で全員に方針を認識させているのか？」という質問が出ましたが、部署別に常に会議をして周知させているという事です。

価格も他店の豆腐よりも高いが、営業に於いて価格競争にならぬようバイヤーに納得させる為、工場のラインを見て頂くそうです。私も近くのスーパーで九一庵のラベルを目にして豆腐買っていますが、金額は他の商品に比べ少し高いが確かに美味しい！濃くてトロ！

今は九州一を目指してですが、志は日本一の豆腐企業！に皆さんも是非ご賞味ください。

大村支部のミスター経営理念、経営指針の徳田さんの報告であった為、ぜひ聞きたいと、大村支部の例会史上一の参加人数ではないかというほど

大多数の参加があり又新しい仲間の紹介もありで、大いに盛り上がった例会でした。

(文責 松野健助)



島原支部 例会報告

日 時	9月20日(木) 午後7時
会 場	ホテル南風楼
テ ー マ	「おもてなし」～マーケティングとは～
報 告 者	島原市 物産流通本部 本部長 武長 道雄 氏



今回の例会報告は今年の4月より島原市物産流通本部本部長に就任されております武長氏にして頂きました。

武長氏は伊勢丹デパートの出身で福岡・熊本にも赴任された経験をお持ちです。その国内トップレベルのデパートでの経験を活かし、島原の流通を活性化させる任務を担われております。

デパート業界の売上がピーク時9億円強あったのが、現在は6億円強にまで落ち込んでいる中、以前では考えられなかったライバルデパートとのコラボや競争条件の変更などビジネスモデルの変更を行っているとおっしゃっておりました。

また、デパート在籍時代に経験されたこと、マーケティング手法などをお話し頂きました。マーケティングに関しましては、プレミアム商品の必須

条件、4P、4Cなどを例にとり私たちにもわかりやすくお話し頂きました。

そこで私が印象に残ったのが新商品開発などの時に自分の主観のみで開発するのではなく開発しようとしている商品の類似品がどのポジションにいてその類似品の良い点・劣っている点を理解し、開発しようとしている商品の良い点・悪い点も理解し、客観的視点も大事であるということです。やはり商品開発をやる時には作り手の思いだけで作ることも多いので、他の商品とも比較し客観的視線も必要だと思いました。

お話をお聞きする中でとても島原を変えたい、活性化したいという武長氏の思いが伝わってきました。

今回のお話を聞かせて頂いて、私もより島原がよくなり、活性化するよう微力ながら努力したいと思い、活力を頂く場となりました。

今回お話頂きました武長氏に感謝申し上げます。

(文責 山口武啓)



トリナソーラー太陽光発電の販売協力店を大募集!

トリナソーラーは1kwあたり30万円代取付費込
超ローコスト!しかもハイパワー!

産業用50kw以下のコンパクトな小規模発電所プランをパッケージ販売!

もちろん住宅用もOK!

スマホ(アプリ)で発電量を管理できる

トリナ・ソーラー正規特約店

(資)内島材木店

■まずはお電話を!

TEL0957-62-2022

長崎県島原市新馬場町 <http://uchijima.jp>

建築古材屋

▼古材ショップのホームページは

建築古材屋 検索

<http://www.kentikukozaiya.co.jp>

↑内島のECO提案↓

現代社会に、わずかしが残っていない良質の古材を保護し、再利用していきます。古材は、地球の宝だと考えます。

使える古材 売ります!

いさぐつた研 買います!

せーんやまどで 活かします!

佐世保支部 例会報告

日 時	9月21日(金) 午後7時
会 場	佐世保市民会館 会議室
テ ー マ	「中小企業振興条例で地域が変わる！」
報 告 書	(株) ミヤタ 宮田 正一 会員 (大村支部長)
	(株) 富建 富永 栄一郎 会員 (大村支部政策委員長)



今回の例会報告は大村支部より、宮田支部長、富永政策委員長にお越し頂き、「中小企業振興条例で地域が変わる！」と題し、報告を頂きました。

報告の冒頭、大村市の中小企業振興条例ができた・・・という話から始まりました。振興会議や中小企業振興センターの創設等々、具体的な振興策の提示により、会員間に具体的なビジョンが見える報告でした。その後、大村支部が振興条例を策定するに至った経緯の報告からは、条例策定については相当なエネルギーが必要であることと、支部単独の力ではどうにもならず、他団体や行政関係者の理解が必要であることが報告されました。

また、現在の大村支部の取り組みを中心に、長崎県でも大きく動きが出来つつあることも報告されました。県議会や県行政の担当職員との意見交換が活発に進み、今後県内各地での条例制定についての動きが期待されていることが報告されました。県内の取り組みが進めば、センター相互の協力が進み、我々中小企業の経営環境がより良いものとなる事が想像できました。

グループディスカッションでは、「経営の相談所があったらどう活用しますか？」というテーマで議論をしてもらい、佐世保の地域にも条例が制定され、振興センターが出来た時のことを想像して、どう活用するかを討論しました。様々な意見が出る中、センターのスタッフについては相当なコミュニケーション能力や中立性、様々な制度や、地域の企業が何をやっているかを相当勉強しておかなくてはならない。等の具体的な話も出ていま



した。

今後佐世保市においても議論を重ね、実のある条例策定に向けて活動を進めていきたいと改めて思いなおしました。

中小企業振興条例の理念的な目的は中小企業の振興による地域の活性化と思っています。そのための手段として産業振興会議があり、産業振興センターが実際の動きを作っていくものと思います。中小企業振興条例によりかかるだけではなく、我々中小企業経営者は不断の努力を惜しまず活動を進めなくてはなりません。不断の努力だけではどうしようもないような「経営環境の変化」に即応できるようなバックアップ体制を作ってもらうバックグラウンドが振興条例と思います。

今回の報告では様々な角度からの検討をさせて頂く、よい機会となりました。遠く大村からお越しいただいた宮田支部長、富永政策委員長には心よりお礼申し上げます。

以上佐世保支部9月例会の報告とさせていただきます。

(文責 原田良太)



北松浦支部 例会報告

日 時	9月26日(水) 午後7時
会 場	松浦シティーホテル
テ ー マ	自社の強み・弱みを知り 今後の経営に役立てよう
報 告 者	松永いづみ税理士事務所 所長 松永 いづみ 会員



9月の例会報告は、松永いづみ税理士事務所の、松永いづみさんに報告していただきました。自社の強み、弱みを知り今後の経営に役立てようというテーマで、自社の経営指針書

に沿って経営指針書の大切さ、その意味を解りやすく説明して頂きました。

指針書の中で自社を徹底的に分析され、強み・弱み・機会・脅威を把握されており、改善されていました。特に社員教育に力を入れておられ様々



な取り組みをされていました。

グループディスカッションでは、計画書を作っているが社内での落とし込みがまだまだという意見や、作っていても社員さんに三分の一ぐらいしか伝わっていない、など様々な意見が出て、白熱した議論になりました。

『一歩・もう一歩』これは松永さんの経営理念です。とても印象に残っています。私もこれからの業務で一歩、もう一歩努力していきたいと思いました。大変活気がありとても充実した例会でした。ありがとうございました。

(文責 荒木大輔)

諫早支部 例会報告

日 時	9月21日(金) 午後7時
会 場	諫早観光ホテル 道具屋
テ ー マ	「五島に帰るにあたって」
報 告 者	NPO法人 島の医療と暮らしを考える会 代表 和田 嘉毅 会員

NPO法人・島の医療と暮らしを考える会代表の和田嘉毅氏は元々は諫早市でPOSシステムのメンテナンスの仕事をされていました。5年ほど前廃業されて自分を奮い立たせるために生まれ故郷の五島に帰ることにします。親友の市議会議員当選を機に五島の人たちのためにガンバってみようと思える様になりました。

五島はもともと10万人の人口でしたが、過疎化が進み現在は4万人です。そして現在も毎年800人ずつ人口が減ってきています。少子化が進み独居老人が増え、商店街は老人ばかりそんな島では医者も不足していて小児科の夜間の診察も出来ず、産婦人科医不足から五島では出産も出来ない状況です。しかし国や地方自治体ではこの状況を打開しようといろんな手当てを行っています。内科から外科の治療が出来る総合医療の先生の確保、とりあえずは地域で働く医者の確保に力

を入れています(地域枠で入ったら奨学金の免除等)そんな五島での医療の状況を肌で感じ、五島に帰って五島の人のために生きて行こうと考えた和田さんは、NPOを承認できれば検診率を上げ、ジェネリックの薬を使うなどで医療費を下げて地域に貢献できると考えるようになりました。

お金のためではない、五島の人たちのために生きていこうという考えの表れが、NPO法人立ち上げの決心へととなりました。また、長崎同友会五島支部を立ち上げたいと思ったのは五島でも郊外には大手スーパーができ、地元のスーパーは売り上げが3割も減ってきています。知り合いの商店が昨年3月につぶれてしまいました。五島市も企業への支援を行っていますが、なかなか育たないのが現状です。もし五島に同友会があったら、経営の悩みや相談事を本音で話せる会が五島にもあったら五島の活性化につながるかもしれない。その思いが五島支部設置委員会への発足となりました。長崎同友会が五島の経済の活性化に一石を投じる事が出来ればいいと思います。

(文責 山田圭一)

青年経営者会 例会報告

日 時	9月25日(火) 午後7時
会 場	同友会事務局
テ ー マ	「相続と贈与に関するQ & A」
報 告 者	吉田國廣税理士事務所 所長 吉田 國廣 会員



9月25日(火)「同友会事務局」にて青年経営者会9月例会が行われました。

今回はスペシャリスト例会として報告者に青年経営者会OBであります吉田國廣税理士事務所の所長、吉田國廣会員を迎え「相続と贈与に関するQ & A」という題目でお話いただきました。青経会員にとって身近である相続にまつわる相続税や贈与税、株式評価について、テキストを用いわかりやすく説明して頂きました。私たち若手経営者、特にこれから事業継承を行う会員に役立つ内容でした。



また、相続税と贈与税は名前こそ違いますが対となるような税であり密接な関係である事も勉強させて頂きました。

説明の後のQ & Aの時間では説明についての質問から、自分や自社の質問まで色んな質問がなされ、聞いている会員にとってもわからない事がわかる内容の濃い時間であったと思います。

会員の皆さんは年代的に相続や贈与を受ける年代であります。質問を重ねていくうちに相続や贈与をする側についての質問にまで至り、先の先を見据えた勉強になったのではないのでしょうか。

(文責 秋月徹雄)



「気持ちよくなる歯医者さんの活用法」②

～美味しく食べて、しっかりしゃべって、幸せ歯ッピー！！～

まちだ歯科クリニック 町田 澄利

今回は、「歯を削らないことの大切さ」についてお知らせ致します。

歯は、削ると必ず抜く運命をたどってしまいます。どんなに精密に詰める治療をしても、小さなむし歯菌は隙間に入って再び破壊を始めていくのです。再発したむし歯によって痛みがひどくなって神経を抜くことになってしまい、冠をかぶせる為にさらに大きく削ることになってしまいます。神経を抜いてしまったことで、枯れ木のように歯はもろくなり、かけたり割れたりして最後は抜くことになってしまうのです。このようなことから、歯は削らないことがとても大切なのです。そのためには痛みのない時から守る作業をしてもらうことが必要になってきます。むし歯になり始めの状態を専門家に早く見つけてもらい「歯に手当て」をしてもらうのです。転んで腕を擦りむいてしまったとき、カットバンを貼ったりして「手当て」をしますよね。痛みのない初期のむし歯にも「専門的な歯の手当て」をしてあげれば、むし歯でない元の状態に回復させることができるのです。

歯を失うことによって脳や血管、ひいては多臓器への悪影響があります。

歯の根の表面には歯根膜という血管や神経などの細胞でできた薄い膜があり、歯と骨を固定するクッションの役割を担っています。歯根膜は噛むことで伸縮し脳の循環血液量を増やし、大脳皮質への刺激も与えることが分かっています。すなわち、認知症予防と重症化予防につながっているのです。よって、歯を抜くことを避けるのはもちろん、残っている歯をできるだけ残すことが大切なのです。しかしながら抜いてしまった歯の隣の歯の手入れはとても難しくなるので、「歯ぐき磨き支援」が必要になってきます。歯を抜いてしまえば手入れをする必要がないから楽なように思われていますが、歯がないところも歯ぐき磨きや粘膜マッサージをすることで細菌の量を減らし誤嚥性肺炎を予防するだけではなく、脳や血管へ、さらには多臓器の機能維持・軽度障害からの回復という良好な結果をもたらすことができます。つまり、歯はなくなっても口の中は清掃とマッサージが必要なのです。是非やってみませんか。気持ちいいですよ！

次回は、「要介護者の自立に向けた歯科の支援」についてお知らせ致します。

新入会員・復会の皆さんです

(敬称略)

< 9 月入会 >

支 部 名	長崎 (出島地区会)		
氏 名	い い だ あ き お 飯田 昭男		
企 業 名	プリンセスネット (株)		
役 職 名	代表取締役		
企 業 住 所	〒851-2126 西彼杵郡長与町吉無田郷 2026-2		
T E L	095-887-5975		F A X
業 種	ブライダル映像制作・販売		
企 業 P R	プロフィールビデオ等のブライダル映像の制作・販売 主にネット通販にて年間2000件以上を制作。 商品はDVD又はブルーレイにて納品。		
スポンサー	濱田 利夫		

支 部 名	諫 早		
氏 名	や ま ぐ ち あ き こ 山口 明子		
企 業 名	(株)ねむの木		
役 職 名	代表取締役		
企 業 住 所	〒854-0026 諫早市東本町5-17 ねむの木ビル		
T E L	0957-47-9070		F A X
業 種	福祉事業		
企 業 P R	訪問介護、訪問看護、福祉介護タクシー、児童発達支援の事業所があります。		
スポンサー	石橋 ゆかり		

支 部 名	大 村		
氏 名	も み ほ だ か 粉 穂隆		
企 業 名	planning Mao		
役 職 名	代表者		
企 業 住 所	〒856-0806 大村市富の原2丁目288-4		
T E L	0957-55-1413		F A X
業 種	広告業		
企 業 P R	広告に関する事ならなんでもご相談下さい。		
スポンサー	山領 進		

支 部 名	島 原		
氏 名	か わ か み た か ひ ろ 川上 貴弘		
企 業 名	川上製麺		
役 職 名			
企 業 住 所	〒859-2212 南島原市西有家町須川 136-1		
T E L	0957-82-3508		F A X
業 種	製麺業		
企 業 P R	手延べそうめんをはじめ、うどん・中華麺・冷麦・そば・ちゃんぽん等、9種類の手延べ製品を製造・販売しております。 1977年に現・皇太子殿下が工場をご見学され、記念としてそうめんを皇室へ献上しました。		
スポンサー	上田 五月男		

支 部 名	佐世保		
氏 名	や つ な み ま な ぶ 八並 学		
企 業 名	i SOLUTION JAPAN		
役 職 名	代表者		
企 業 住 所	〒859-3224 佐世保市重尾町3683-4		
T E L	050-5539-5454		F A X
業 種	ICTコーディネーター		
企 業 P R	クラウドイングシステムを活用し、企業が抱えるデータの共有と活用における様々な問題を最新のネットワーク技術を用いて解決します。		
スポンサー	千北 豊明		

< 復会 (交代) >

支 部 名	長崎 (出島地区会)		
氏 名	よ し だ だ い す け 吉田 大祐		
企 業 名	(有) 観月		
役 職 名	取締役		
企 業 住 所	〒851-0506 長崎市協岬町3628-5		
T E L	095-893-2100		F A X
業 種	ごま豆腐製造業		
企 業 P R	厳選された素材のみをふんだんに使用した観月の名物ごま豆腐。その美味しさは『ごまプリン』と呼ばれ、愛されています。ネットショッピングにての購入もできます。よろしくお願い致します。		
前 会 員	田本 佳史		



新 商 品

長崎さるくマツ

ダスキン栄進

TEL 823-7633

瀧川 隆 会員 (長崎支部 出島地区会)

理事会報告

2012年10月理事会 議事録 抜粋 10月2日(火) つくば倶楽部

仲間づくりについて

- 1) 入会・復会・退会の承認について
入会6名、復会2名、退会4名を承認。

報告・連絡事項

- 1) 9月 県本部・各支部・各地区会・各委員会等の活動状況について

＜経営・労務担当委員長＞

9月8日土曜日、長崎にてがんばらば塾を開催しました。
これで県主体の半日勉強会は一通り周りました。
10月16日に委員会開催予定です。このとき1泊2日コースを話し合います。

＜政策委員長＞

9月5日に会員の皆様へ条例関係の取り組みを知って頂くため、長崎支部の皆さんを対象に「よい経営環境をつくるための学習会」を開催しました。今後地区別の開催を予定しています。県北地区においては経営フォーラムをその学習会に当て、県央地区・島原支部においては今後日程を調整していきます。
9月27日には政策委員会を開催し、経営フォーラム第3分科会のグループ長の最終打ち合わせを実施しました。
また、10月5日には長崎県知事との対談に参加する予定です。

＜仲間づくり委員長＞

フォーラム開催時に450名の会勢で挑むにはまだほど遠い入会者ですが、この厳しい入会者勧誘の状況の中、多くのオブザーバーを獲得されたかと思います。特に開催地の佐世保は奮闘努力の影が伺えます。又、諫早と島原の退会者ゼロはすばらしい事です。フォーラム以後、退会者が突出しない様注意を払いましょう。最後に県の委員会がフォーラム前に出来なかったことが残念でなりません。

＜ビジョン委員長＞

28日につくば倶楽部にて第3回委員会を行いました。
「ビジョンとは？」ということで、共通の認識を図ろうということで討論を行い、やっと共通の認識が出来ました。これでスタートラインに立てた様に感じております。

- 2) 例会について（更なる例会の充実をめざして）－尾崎例会委員長

9月の北松浦支部の例会参加で、全支部・地区会への例会参加が終了しました。
来月の例会委員会で、気付いた点等をお知らせしようと考えています。

- 3) 経営フォーラムに関して（10月1日正午現在）

	目 標	登録会員	登録オブ	合 計
長 崎	120	75	27	102
（ 浦 上 ）	60	33	10	43
（ 出 島 ）	60	42	17	59
大 村	30	27	5	32
諫 早	30	23	5	28
島 原	20	17	4	21
佐 世 保	70	57	75	132
北 松 浦	30	18	0	18
他 県			59	59
合 計	300	217	175	392

※参加登録並びに参加促進ありがとうございました。
※グループ長・発表者をご快諾頂いた皆様、また、分科会の移動にご協力頂いた皆様、ありがとうございました。
※すばらしき学びの機会となる様に実行委員会一同準備に専念しています。
※会場は九十九島観光ホテルのみとなりました。
記念式典からの参加の皆様、くれぐれもご注意願います。

- 4) 五島支部設立について

◎9月18日 第1回委員会開催
名称改正提案あり

退 会 者 (敬称略)

会 社 名	会 員 名	支 部 ・ 地 区 会 名
(株)ホロスプランニング	川 本 昇 平	長 崎 ・ 出 島
海鮮山鮮	荒 木 淳	大 村
(有)西九州スポーツクラブ	脇 村 英 治	大 村
(株)山本造園土木	山 本 規 仁	北 松 浦

「支部設置準備委員会」から「支部設置委員会」へ承認
(格上げの考え、並びに意識の高揚に向けて)

役員 (敬称略)

委員長－松田一成 (諫早)、副委員長－和田嘉毅 (諫早)、
吉澤健 (長崎)、宮田正一 (大村)、川下真文 (佐世保)、
顧問－末次真 (長崎)

◎10月1日 第2回委員会開催

支部設立に伴う予算案の検討も含め、慎重に協議した結果、
同友会をもっと知って頂くためにも、現地の皆さんの声をもっと聴きながら、もう少し時間をかけて進めていくことを確認。
五島の主力メンバーとの会合を早く実施し、状況をよく見極めての判断が必要。
また、主力メンバーへの仕掛けがとても重要であることから、
委員会が計画的に行動し機能するために、次の①～④の項目が決議されました。

- ①委員会（6～7人）が五島に行き、メンバーと語り合い、
コアになる人材をつくる。
②第1回の時期は10月末までに実施する。
第1案 10月28・29日 (日・月)
第2案 10月23・24日 (火・水)
③現地で「同友会を知る会」を11月に開催する。日程は未定。
④次回委員会は10月20日 (土) 18時 つくば倶楽部に
て

- 5) 理事選考に関して

理事選考委員会より松尾慶一氏 (現代表理事) の推薦があり承認。
来期の総会への上程を決議。

- 6) 中同協関係の件

主要行事の紹介と参加促進

協議・承認事項

- 1) 40周年記念事業に関して－岩崎40周年記念事業実行委員長

◎記念式典内容について－承認。

◎記念誌について

岩崎委員長からの提案－予算の都合上、名簿部分をカットしたい。
決議事項－予定通り、名簿は掲載する。
(本理事会で入会承認の方まで含めて)

- 2) 広報誌用「例会報告マニュアル」の内容承認と徹底について

決議事項

理事会で出された意見をもとに、委員会での再協議を依頼。
その結果を来月の理事会に提案して頂く。

会員消息

●会社名・住所変更

高比良 幸人 会員 (長崎支部・出島地区会)

旧：〒851-0115 長崎市かき道3丁目16-12

新：〒851-0134 長崎市田中町1401

※電話・FAXは変更ありません

●会社名変更

和田 嘉毅 会員 (諫早支部)

旧：五島の地域医療を守るNPO準備会

新：NPO法人 島の医療とくらしを考える会

会 員 数 (10月2日現在)

	目 標	期 首	現 在
長 崎	229	182	178
（ 浦 上 ）	109	91	89
（ 出 島 ）	120	91	90
大 村	55	46	48
諫 早	60	45	49
島 原	40	30	33
佐 世 保	100	69	82
北 松 浦	40	29	28
合 計	524	401	419